

学校名 [仙台市立高森小学校]

氏名 [吉田 啓介]

[小] 学校 [4・5・6]

年版 単元名 [災害から身を守るために] p 32～33

教科・領域名 [学級活動] [時間 45分]

主な学習活動 (実際に行った活動)

指導の実際

【ねらい】

・様々な場所を想定して、災害(地震)が起きたときに、自分の身をどのように守るのかを考える。

- 1 休み時間の避難訓練の振り返りをする。
- 2 教科書を見る。(副読本 p 32～33)
- 3 地域・安全マップを見る。
(家の周りでの危険・避難箇所の確認)
- 4 通学・帰宅中に地震が起きたときの行動の仕方を考える。

もしも、通学・帰宅中に地震が起きたら、どのような行動をとりますか。

【場面で考える】

- ・歩道で歩いているとき
- ・横断歩道を渡っているとき
- ・住宅の周囲を歩いているとき
- ・公園付近にいるとき
- ・避難所付近にいるとき
- ・家の近くにいるとき
- ・エレベーターの中にいるとき

- 5 まとめをする。
・「自助」について知り、学校で行われる避難訓練で地震に対する意識していく。

- ・チェックシートを活用して、休み時間の避難訓練の行動を振り返る。項目ごとに、できたところと反省するべきところを確認する。
- ・仙台市の避難所の場所を確認する。
- ・社会科で作成した地域・安全マップで高森学区内の避難所の場所を確認する。



- ・通学、帰宅中に地震が起きたら、どのような行動をとるのかを考える。
- ・それぞれ想定される場面を提示し、それぞれの身の守り方を考えてみる。(校内時との比較)



- ・地震が起きた時に、自分で安全な場所を見つけ、安全な行動を取ろう。



ひなんくんれん ひょう 避難訓練チェック表

じぶん ひなんくんれん
自分の避難訓練の様子をふりかえってみましょう

【◎よくできた ○できた △もうすこし ×できなかった】

NO	ないよう	じこひょうか	
		9/6	9/13
1	「 お ちてこない。」「 う ごいてこない。」 「 た おれてこない」 <small>ばしょ</small> 場所にひなんできた。		
2	<small>ほうそう</small> 放送を <small>き</small> しずかに聞けた		
3	<small>ほうそう</small> 放送のせつめいが <small>わ</small> 分かった。		
4	<small>あたま</small> 頭を <small>て</small> 手や <small>ぼうし</small> 帽子、 <small>ほん</small> 本などで <small>まも</small> 守れた。 (→つくえの <small>した</small> 下にもぐる し たことができた。)		
5	お さないでひなんできた。		
6	は しらないでひなんできた。		
7	しゃ べらないでひなんできた。		
8	ひなんの <small>とき</small> 時、 も どら な かった。		
9	ひなんの <small>あと</small> 後、すばやく <small>せいれつ</small> 整列できた。		
10	<small>さいご</small> 最後までふざけず に できた。		

10のやくそく。あなたは、すべてまもれたかな



もしも、
ろうかで



じしんがおきたら!?

<ひなんのしかた>

- 1 からだをひくく
- 2 あたまをまもる
- 3 時間があれば、近く
の教室のつくえの下へ
- 4 せんせいをまつ
- 5 ひなんする



「**お**ちてこない」「**う**ごいてこない」「**た**おれてこない」